

(探)

ツチアケビ、ヒヨドリジヨウゴ、ヤマクルマバナ、シユウブンソウ、イノコズチ、ナガバヤブマオウ、オオバアサガラ、アキノハハコグサ、ヤナギタデ、ヤマトキホコリ、カエデドコロ、ニワトコ、ヨグソミネバリ、ケケンボナシ、オニカナワラビ、ニガイチゴ、ウリハダカエデ、ムラサキシキブ、チドリノキ、シラゲヒメジソ type. ヒメジソ、ミヤマヤブタバコ、ホソバガシクビソウ、ヘクソカズラ、ビロウドヤイトバナ、を採集し、谷川の向岸に行けば四国で採集したナチシダ、ギンバイソウ、ミヤマクロモシ、オニイタヤ、を採集して、時間を見ると、3時40分であるので、急いで帰り始めた。少し行くと、岩屋寺で採集したイワヤシダの雄姿を発見し、10本ばかり採集して、バスに乗つて帰宅した。

(渡辺 定路 記)

採 集 ノ 一 ト か ら

(1) *Celastrus insularis* Koidz. オオツルウメモドキ

ツルウメモドキとの相違点は葉の下面の中肋及び脈上に黄褐色の短剛毛があり、葉が稍々大きくまるい形をしている。小生は日野山で1960年7月23日に採集した。

(2) *Omphalodes laevisperma* Nakai エチゴルリソウ

この種は、ルリソウと、ヤマルリソウとの中間的な形態をなしている。花序は2分岐し(ルリソウに似ている)分果のふちにかぎ状の刺はない。(ヤマルリソウに似ている)

(3) *Lindera membranacea* Maxin. オオバクロモジ

クロモジに比して、葉は稍々大きく、側脈は5~8対(クロモジ4~6対)と稍々多く、下面脈上に長毛を散生する。小生が越前で採集したものは、オオバクロモジで、若狭で採集したものはクロモジであつた。

(4) *Lindera sericea* (Sieb. et Zucc.) Blume

var. *tenuis* (Nakai) Momiyama ミヤマクロモジ

葉の下面の脈は隆起し、帶白色で、側脈は6~9対で、下面に長毛がある。

オオバクロモジより葉も大きい。

小生は、1960年10月3日若狭、名田庄村一つ谷で採集。

(5) *Polygonatum macranthum* (Maxin) Koidy. オオナルコユリ

ナルコユリに比して、葉も幅広く、壮大であり、花絲は基部著しく肥厚し、先端を除き、細突起あり、花のない時は葉の下面脈上に細突起のないものがオオナルコユリであるものが、ナルコユリである。

(6) *Melampyrum rasseum* Maxim. ツクシママコナ

(採)

この種は、花の毛状牙齒は少なく、花はまばらにつき、がくの先端は鋭形、又は鋭類形で短毛があるのでママコナと區別できる。

武生市のものはツクシママコナであつた。

- (7) *Vitis flexuosa* Thunl. var. *tsukubana* Makino ウスゲサンカクズル

現在までサンカクズルで記録されているものは、サンカクズルとケサンカクズルである。

ウスゲサンカクズルはこの両者の中間的形態を示す。若枝には蜘蛛毛があり葉の上面は無毛下面には黄褐色の蜘蛛毛がある。

小生は1960年7月8日武生市、若須岳で採集

- (8) *Fraxinus samlucina* (Blume) Koidy. コバシジノキ

コバノネリコは通常小葉は5枚であるが、コバシジノキは通常7枚であり葉の下面には中肋に沿いて、淡褐又は白色の開出短毛あり

小生は1960年7月27日 三の峯で採集

- (9) *Commelinia communis* Linn. var. *ciliata* Masamune ケソクサ

管の外面に毛のあるものをいう

小生は武生市宮谷町、若狭、一つ谷国有林、青葉山で採集

(渡辺定路 記)